

福島県立医科大学附属病院の外来者向け食堂における 感染性胃腸炎疑い者の発生について

福島県立医科大学附属病院の外来者向け食堂から感染性胃腸炎疑い者が発生していることが、2月27日（木）夕方に判明いたしました。直ちに、保健所に通報し、附属病院内に病院長を長とする対策チームを設置して、外来者向け食堂の営業を自粛することといたしました。

2月28日（金）に保健所の立入調査が行われました。現時点では詳細は不明ですが、感染拡大防止に全力をあげております。

外来患者様など皆様に大変なご迷惑ご心配をお掛けすることになり、お詫び申し上げます。

記

1 食堂等の営業自粛について

- ・ 外来者向け食堂 2月27日（木）16：30～営業自粛
- ・ ベーカリー 2月28日（金）～営業自粛
- ・ 学生食堂 2月28日（金）～営業自粛

2 2月28日（金）9時30分時点での感染性胃腸炎疑い者 80人

内訳	外来者向け食堂従業員	8人
	医大教職員	59人
	医大学生	13人

3 県北保健所立入調査

- ・ 2月28日（金）9：30～外来者向け食堂の立入調査を実施
- ・ 当院からは感染制御部が立ち会い

4 上記1の食堂等の営業者

- ・ 福島県庁消費組合

5 お問い合わせ先

- ・ 病院経営課 024—547—1044